

平成 27 年度 事業報告書

[学校法人 三室戸学園]

I. 法人の概要

1. 設置する学校、学部、学科

- 東邦音楽大学大学院 [音楽研究科]
- 東邦音楽大学 [音楽学部音楽学科]
- 東邦音楽短期大学 [音楽科]
- 東邦音楽大学附属東邦高等学校 (全日制の課程) [音楽科]
- 東邦音楽大学附属東邦第二高等学校 (全日制の課程) [音楽科]
- 東邦音楽大学附属東邦中学校
- 東邦音楽学校

2. 学生・生徒数

(平成 27 年 5 月 1 日現在)

区 分	入 学 定 員	学 生 ・ 生 徒 数
東邦音楽大学大学院	15 人	28 人
東邦音楽大学	100	280
東邦音楽短期大学	50	111
附属東邦高等学校	80	69
附属東邦第二高等学校	50	74
附属東邦中学校	50	45
東邦音楽学校	—	288

*東邦音楽学校の学生・生徒数は「教養科」の生徒数である。

3. 役員・教職員

(1) 役員

- 理事長 三室戸東光
理事 齊藤 健司 (平成 27 年 4 月 30 日付退任)
辻 敏明 (平成 27 年 5 月 1 日付就任)
塩島 貞夫・福岡 省三・西 修一郎
山岡耕筈 (平成 27 年 10 月 31 日付退任)
監事 井上明俊・和田正夫

(2) 教員

① 専任教員 77 名

[大学院・大学・短期大学] 60 名

教授 28 名 (うち特任教授 14 名)、准教授 21 名 (うち特任准教授 11 名)

講師 11 名 (うち特任講師 2 名)

[附属学校] 17 名 校長 2 名、教頭 2 名、教諭 13 名

② 非常勤講師 146 名

(3) 職員 48 名

Ⅱ. 事業の概要

1. 概要

我が国の高等教育機関とりわけ私立大学・短期大学を取り巻く環境は年々厳しさを増している。特に2018年（平成30年）以降は18才人口のさらなる減少が確実であり、大学間のより厳しい学生獲得競争の激化が見込まれている。

中等教育機関については、その学齢人口の減少は、すでに到来しており、高等教育同様に厳しい生徒獲得競争になっている。

本学園は、創設以来「音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格の形成を目途とする」ことを建学の精神・理念として掲げ、①一貫教育の実践 ②少人数制教育 ③国際化の推進 ④地域社会との交流という4つの教育方針の下に、小規模大学の特色を活かし、学生・生徒それぞれの思いとニーズをしっかりと受け止め入口から出口まで面倒見の良い学園として、個に応じた教育・指導等を実践している。

また、学園として健全かつ安定した教育や学校運営のために、学生・生徒の確保に全力を挙げて取り組んでおり、大学院、大学及び短期大学については、徐々にその成果を挙げつつある。

しかしながら、大学については、入学定員と入学者数及び収容定員と在籍者数をそれぞれ比較すると、大きく定員を割っており、財務状況が改善できない大きな原因になっている。

附属中学校・高等学校及び第二高等学校については、いずれも生徒数が定員を満たしていない状況にある。

一方、教育改革への取り組みについては、本学園は平成27年度私立大学等改革総合支援事業（タイプ1：大学及び短期大学、タイプ2：大学）に採択された。

これは、本学園が取り組んできた教育改革について、文部科学省及び日本私立学校振興・共済事業団から高い評価を得たことによるものである。

また、附属中学校・高等学校においては、平成27年7月から文部科学省の国際理解教育事業であるJETプログラムにより、米国から英語指導助手1名を受け入れ、国際理解教育の質の向上を図っているところである。

平成28年度は、全ての設置学校における学生・生徒の充足及び徹底した経費削減による財政収支の安定化を学園全体の喫緊かつ重大な課題として、全教職員が一層の危機感を持って取り組むとともに、理事長・学長のリーダーシップの下に更なる教育改革の推進を図ることとしている。

なお、第二期中期計画（平成24年度～平成28年度 5年間）については、その計画を評価検証し、1年前倒しで第三期中期計画（平成28年度～平成32年度）を策定・実施することとした。

2. 事業計画の推進状況

○平成27年度の主な新規事業

(1) 教育改革の推進

平成27年度については、これまでの様々な教育改革に加えて次の施策を実施、策定した。

①全教員が両キャンパスにてオフィスアワーを開設

大学、大学院及び短期大学生に対して、よりきめ細かい教育指導を行うため、非常勤講師を含めた全ての教員が、全キャンパスにおいて、オフィスアワーを設けることとした。

②ベストティーチャー賞制度の創設

大学・大学院及び短期大学において、教員の教育面における評価の一環として、質の高い授業等の教育を行っている優秀な教員を顕彰するとともに本学の教育の質を高めることを目的として制定した。

③FD・SD研修の充実

例年8月に実施しているFD研修に文部科学省から講師を招き、職員も参加したFD・SD研修を実施した。

なお、SD研修については、6月及び7月にも実施した。

(2) 入試改革について

入試について、大学、短期大学は、一般入試、推薦入試、AO入試に加え、社会人入試など受験生のニーズに沿った入学試験を行い、学生の獲得に努めている。

平成28年度入試（平成28年4月入学）においては、新たに、オーケストラ等を育て、強化することを目的に「管楽器・弦楽器」特別特待生入学試験を実施した。本試験により入学した学生は、入学金及び授業料が一部免除される。

本試験には、4名（オーボエ）が出願し、4名が入学した。

(3) 学生獲得を中心とした広報入試センター実施事業について

①大学見学会

11/2日（日）に「大学見学会」を開催（大学のみ開催）

目的：本学の特徴ある教育プログラム・カリキュラム・システム、指導方針を、特に音楽科を持つ高校の生徒と教員に知って、体験していただき受験生確保に繋げる。

内容：大学概要説明、特徴ある教育プログラム紹介、体験授業（参加型）、公開レッスン、学生コンサート 他

②入試対策講座

10/10（土）、24（土）に開催（大短共通として文京キャンパスにて実施）

目的：平成28年度入試より「楽典」試験が追加されたことを受けて、傾向と対策を周知するとともに受験生確保に繋げる。

内容：楽典、ソルフェージュ、小論文の傾向と対策。面接・面談対策。AO入試のポイントと対策

③高大接続（連携）

6/23（火）附属高校、6/30（火）附属第二高校、10/14（水）附属高校、附属第二

高校、11/18（水）附属高校、附属第二高校、ピアノ部会、1/27（水）附属高校、附属第二高校、声楽部会、2/3（木）附属高校、附属第二高校、声楽部会

目的：附属中高大一貫教育の更なる充実を目指し、情報共有と生徒学生募集の協働を行いながら、附属高校生の大学、短大への進学率を高める。

内容：意見交換、提案事項 他

④産学連携

4/14（火）NEC ネットエスアイ来校、5/11（月）NEC ネットエスアイ訪問、9/17（木）出演者事前交流会、10/7（水）チャリティーコンサート本番、11/24（火）NEC ネットエスアイと文京博覧会打ち合わせ、11/26（木）文京博覧会出展準備、11/27（金）・28（土）文京博覧会

目的：良き企業市民としての社会貢献活動を目指す NEC ネットアイ株式会社と音大生が音楽を通じ現代社会の一端を実感する機会を持ち、東日本大震災チャリティーコンサート募金活動にも参加しながら企業と大学の連携を深める。

内容：企画、構成、事前交流会、産学連携チャリティーコンサート、終演後親睦会、学生感想レポート提出 他

（4）関係機関との連携協定について

平成27年度において、本学園の教育の質の向上に資すると共に社会への貢献に寄与することから、次の機関と連携協定を締結した。

- ①新国立劇場
- ②東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
- ③全国音楽系大学コンソーシアムへの参画

（5）学生支援について

従来の奨学金制度に加え、平成27年度から、「東邦音楽大学河野顕奨学金規程」を制定した。本奨学金は、河野顕氏の功績を湛えるとともに、東邦音楽大学において音楽療法を学び、将来音楽療法士として社会に貢献しようとする意欲のある学生を支援するためのものであり、その原資は、河野氏のご遺族のご厚意に基づいている。

（6）国際交流について

①附属中学校・高等学校は、平成27年7月から、文部科学省の国際理解教育事業である JET プログラムにより、米国から英語指導助手1名を受け入れ、英語教育や国際理解教育の質の向上を図っているところである。

②平成27年11月24日に CIS（独立国家共同体）音楽大学の学長等9名（同行者を含め計21名）が、本学園を表敬訪問した。

当日は、理事長・学長の歓迎挨拶、中村統括による本学の概要説明を行い、その後文京キャンパスの見学が行われた。



【写真】三室戸理事長・学長（中央）が CIS 音楽大学の学長に本学園の概要を説明

(7) 管理・事務組織の充実について

平成27年8月1日に、従来の「演奏室」を再編し「地域連携・演奏センター」を設置した。

この再編により、これまでの地域連携をより充実した組織体制を構築した。

○平成27年度の主な継続事業

(1) 教育改革の推進

学園として、社会や国民の大学に対するニーズや期待に応えるため、中央教育審議会答申等を踏まえて、学長のリーダーシップの下に大学及び短期大学について、これまで以上に教育改革を推進した。

その結果、平成27年度私立大学等改革総合支援事業（タイプ1：大学及び短期大学、タイプ2：大学）に採択された。

(2) 教育方法及び教育内容等の改善充実について

学園では、大学等で実践する音楽教育が世界で通用する音楽教育、いわゆる「世界基準の音楽教育」として、国内外で活躍できる音楽家・音楽人を育てるとともに、社会で活躍できる人材を養成するため ONE to ONE の教育システムによる教育活動を行うとともに、大学・短期大学においては、特色ある授業の一つである「東邦スタンダード」を通して入り口から出口までの一貫した人づくり、人間教育を実践している。

① 教育方法・内容等の見直し

1) セメスター制・GPA制度等の実施

学生の学修時間の少なさ等が指摘されている中、本学においても学生が主体的に学修に取り組み、集中して履修し評価されることにより、より学修効果が高まるようにするとともに、入学後の多様な学修計画に即した科目履修に対応できることとするため、平成25年度の試行的実施を踏まえ、平成26年度からは完全セメスター制（半期完結型）を導入している。

学生の学修時間の実態調査については、従来から実施している「授業・レ

ッスン欠席調査」に加えて、「学修時間調査」を引き続き実施し、この結果については学生の教育指導等に活用している。

2) 実技レッスン時間の延長

大学・短期大学及び附属中・高等学校について、実技の向上を図るため、平成 25 年度から実技レッスンの時間について見直しを行ったが、平成 26 年度からは学生の練習環境の改善を図るため、授業時間後の学内における実技練習時間についても拡大している。

・学内での練習時間

7:30 ～21:00（土曜日は 20:00）

② 少人数制のきめ細かな指導の推進

社会構造の急激な変化に伴い家庭の在り方も変容するとともに、入学者選抜方法も多様となり、入学してくる学生・生徒に質の変化や目的意識の曖昧さ等が年々多く見受けられるようになっている。学園では、教務部長、学生部長を中心として、学生相談室、カウンセラー室等の担当部門だけではなく全学組織をあげて対応するとともに、音楽大学の特色である実技科目の個人指導の際においても、学生からの相談に随時対応するなど組織体では補えない個別の問題についても常に相談出来る体制をとっている。

また、クラス担任制の導入やレッスン記録簿の作成・活用により、学生に対する指導の充実を図っているほか、学生相談員（学生相談室）や心理カウンセラーによる指導、助言等により様々なハラスメントの防止や心のケア等を行い学生生活に対する支援活動を推進した。

なお、本学は、大学及び短期大学とも学生数に比して開設科目、開講クラス共に多く学生が幅広く選択し学べる体制をとっている。また、平成 27 年度における専任教員（特任教員を含む。）1 人当たりの学生数は、大学で 5.6 人、短期大学で 11.1 人になっており、一人一人に目の届くきめ細かな少人数教育を実践するなど学生にとっては恵まれた教育環境にある。



【写真】ピアノの個人レッスン

③ 特設コースによる充実した教育

平成 26 年度から大学に「演奏家コース」と「教職特設コース」という将来の目的を明確にした学生のニーズにあった二つのコースを設置した。

「演奏家コース」は、将来演奏家を目指し、また海外留学することを目指す学生のために必要なカリキュラムを設定するとともに、ウィーン研修を各学年 2 回（4 年間で 8 回）実施するなど内容の濃いコースとなっている。

また、「教職特設コース」は、中・高等学校等の音楽教員として地域の中核として活躍することを志す学生のために、特に教職に関する科目、教育現場インターシップ等について充実を図ったコースとなっている。

〔平成 27 年度在籍者〕

- ① 演奏家コース 6 名（ピアノ専攻 3 名 声楽専攻 2 名、管弦打 1 名）
- ② 教職特設コース 14 名

④ クラス担任制による教育指導体制の充実

本学では、音楽大学又は音楽短期大学の学生として、入学してからの修学の内容及び方法から卒業に当たっての社会人としての考え方、卒業後の進路の在り方等、いわゆる入口から出口までのことに関して、各学年必修科目として「東邦スタンダード」科目を開講しており、この授業は本学の特色の一つとなっている。

東邦スタンダード科目の実施に当たっては、大学は 1 年から 4 年（短期大学は 1 年から 2 年）まですべてクラス担任を配置する、いわゆる「クラス担任制」を導入しており、学生個々の状況を見ながら指導を行っている。

また、クラス担任の教員については、指導力の向上等を図るために FD の一環として教員研修会を実施しているが、その内容も年々充実し確かなものとなっている。



【写真】東邦スタンダードの授業

⑤ 社会人等を対象とした長期履修制度

「長期履修制度」は、職業を有しているなどの事情により、修業年限を超えた一定の期間にわたって、計画的に教育課程を履修して卒業するという制度である。学園は、これまで修学を希望する社会人や高齢者等を大学及び短期大学に積極

的に受け入れてきているが、短期大学についてより一層社会人の修学ニーズに応じていくために、学費や履修方法等について見直しを行っている。

この結果、社会人の入学希望者が増え、平成 28 年度の短期大学入学試験においては 13 名の社会人が合格し、長期履修希望者は、11 名（3 年履修 4 名、4 年履修 7 名）であった。

社会人学生の状況

年 度	社会人学生在学者数	左のうち、長期履修者数
平成 27 年度	37 人	32 人

⑥ 社会的奉仕活動（ボランティア活動）等への支援

学園は、「地域社会との交流」を教育方針の一つとしており、地域活動や社会貢献活動に積極的に取り組み、小・中学校の児童生徒のための音楽鑑賞教室の開催や病院・福祉施設等におけるボランティアコンサート等を実施しているが、年々地域や団体等からの要請が増加している。

特に、文京キャンパスの近隣にある東京都立大塚病院で実施している院内コンサートについては、大塚病院から感謝状が贈呈されている。

学生・生徒にとって、ボランティアコンサート等、他人（ひと）前で演奏することは、演奏マナー、企画力、奉仕の精神、社会性の涵養等様々な点において非常に有意義である。大学及び短期大学ではこれらボランティアコンサート活動を必修科目である「ヒューマンコミュニケーション」の単位のポイントとして位置付け、学生の積極的な参加を促している。

⑦ 社会的貢献活動の推進

大学の社会に対する責務の一つとして、地域社会との連携や社会貢献が求められている。学園では、大学等が有している人的・物的資源を社会に提供し、社会や地域に貢献するための様々な活動を推進している。平成 27 年度は、前年度に引き続き、一流アーティストの演奏や学生・教員によるコンサート、中・高校生を対象としたコンテストや講習会等を実施したほか、埼玉マナビプロジェクトなど地方公共団体と連携した一般市民を対象とした公開講座を実施した。

なお、病院等におけるボランティア演奏等についても積極的に実施した。



【写真】南古谷ウインドオーケストラ第 5 回定期演奏会

⑧ 公開講座・公開レッスンの拡充

音楽を学ぶ学生・生徒にとって、一流アーティストの演奏を視聴したり、レッスンに触れたりすることは、知識・技術の修得や向上を目指す上において重要であり、かつ貴重なものである。

平成27年度は、ピアノ、声楽について公開講座等を実施したが、特にセミナーについては、卒業生等を対象として本学の教員が自ら企画、実施しているもので、「東邦ピアノセミナー（セミナーと実技指導で構成）」については、第9回目で3講座に延べ147名の参加があったほか、個人レッスン希望者も21人であった。

「声楽セミナー」は、第3回目で2講座に延べ100名の参加者があったほか、個人レッスンに15名の参加があった。両セミナーとも参加者からは高い評価を受けるとともに、学園と卒業生との連携においても成果をあげた。



【写真】 大学院生、大学生、短大生、卒業生へのピアノ公開講座

⑨ 図書館の整備充実

図書館では、図書・資料等のコンピュータによる管理化や利用者のためのマニュアルの作成、学生・生徒ならびに教職員の利用状況等についての月次及び年次報告書を作成し、配布周知するなどにより、学生・生徒等へのサービス向上に努めている。

⑩ エクステンションセンターの活動及び施設の有効活用

エクステンションセンターは、本学講師に加え、外部講師を招いて多種多様な公開講座を開催している。

平成27年度は、集客力が大きな「0歳から親子で楽しむ音楽会」をはじめ22講座を開催し、557名の受講者を得た。

特に、「日本語・ドイツ語・イタリア語の声楽作品を歌う」については、受講者が92名と今までにない規模となり、大変好評を博した。



【写真】「日本語・ドイツ語・イタリア語の声楽作品を歌う」の講座

⑪ 川越ミュージックセンター

- ・平成27年度においては、新たにグループ対象の講座として、少年少女合唱団（仮称）を設立し、4名が参加した。
- ・東邦音楽大学附属第二高等学校と連携し、生徒の基礎力向上に努めた。

(4) 学生支援について

① 奨学金の給付

学園では、学業成績が優秀であるが経済的事由等によって修学が困難な学生・生徒に対して支援を行うため独自の奨学金制度を設けている。この奨学金は、返還を必要としない給付型の奨学金であるため学生・保護者にとって修学上大きな支えとなっている。

平成27年度は、27名の学生・生徒に対して総額7,960千円の給付を行った。

奨学金の種類	大学・大学院	短期大学	中・高校	計
東邦音楽大学・東邦音楽短期大学奨学金	9人	1人	—	10人
三室戸学園創立75周年記念奨学金	12人	1人	4人	17人

② アパート等借り上げのための補助制度

地方から大学等へ進学する者を支援するため、一都六県以外からの入学者で、大学（大学院を含む。）及び短期大学に入学するためにアパート等を借り上げる必要がある者に対して経費の一部を補助しており、平成27年度は17人（大学院4人、学部1人、短期大学12人）に対して総額2,040千円を補助した。

③ キャリア支援について

キャリア支援センターでは、川越キャンパス及び文京キャンパスにそれぞれに専任の職員を配置し、キャリア支援委員会と連携を取りながら、個別相談を軸に積極的に学生のキャリア支援及び進路（就職）相談や指導等を行い、学生の就職意識の向上に努めている。

平成 27 年度におけるキャリア支援センターへの学生の相談件数は、大学が 924 件（前年度 1,137 件）、短期大学が 577 件（前年度 554 件）、合計 1,501 件（前年度 1,691 件）となっており、大学在籍学生数の減少が訪問数に反映しているが、学生の就職に対する意識は維持されている。

なお、就職希望者に対する就職率は、大学が 87.5%（前年度 88.7%）、短期大学が 87%（前年度 86.7%）となっている。

④ 自治体、企業等との連携によるインターンシップについて

大学・短期大学生のインターンシップ制度も、単位制となってから 10 年目を迎えた。

インターンシップ先も自治体、企業など派遣先の分野も幅広くなってきており、参加する学生等の理解・関心も年々高くなっている。

平成 27 年度は、12 名の学生（大学生 8 名・短期大学生 4 名）がインターンシップに参加したが、前年度と比較すると大学生は横ばいだが、短期大学生の参加が減少した。

インターンシップに参加する学生は、夏期休暇中にそれぞれ、自治体、企業等で 2 週間の職業体験を行い、その成果を平成 27 年 11 月 11 日（水）に川越キャンパスにおいて教職員・学生参加の下に行われた「インターンシップ体験発表会」において報告した。

〔インターンシップ先と参加学生数〕

インターンシップ先	大 学	短期大学	計
埼玉県川越市役所（職員課、産業振興課）	2		2
埼玉県ふじみ野市役所（西児童館）	1		1
東京都文京区役所（福祉課）		1	1
ヤマハミュージッククリテイリング銀座店	2	3	5
丸広百貨店（婦人雑貨売場）	1		1
KDDI 研究所	1		1
ディスクユニオン（CD ショップ）	1		
計	8	4	12

⑤ 優秀な学生・生徒を育成するための修学支援

学生の音楽に関する技術・技能をより一層向上させるため、大学及び短期大学等では開設授業科目のほか、定期演奏会、トライアルコンサート等様々な演奏会や公演の機会を設けている。さらに大学及び大学院では必修となっているウィーン研修（短期大学は希望者のみ）においては、ウィーン国立音楽大学の教授陣やウィーンフィルハーモニーのメンバーから直接指導を受けることができることとなっている。

また、学部卒業後より高度な知識と技能の修得を目指す学生のために大学院音楽研究科（修士課程）を設置しているほか、大学等を卒業後、実技等について更なる向上を目指す者のために東邦音楽大学アドバンスコース及びエクセレントコースを設け指導に当たっている。

なお、学園では、優秀な学生生徒を入学させ、その資質を伸ばし育てていくために「特待生制度」を導入しているほか、特に優れている学生については将来国内外で活躍できる人材として育成するための「特別研修奨学生制度」を設け、現

在2名の学生が給付されている。

⑥ 留学生に対する修学支援の実施

学園は、中国語に堪能な職員を大学事務室に配置し、留学生に対する学生生活や修学等に対して相談等に応じているほか、留学生の受け入れに当たっては必要に応じ現地での入学試験も実施している。また、学費についても入学料及び授業料について留学生を対象とした特別軽減措置を講じるなど、積極的に受入れや修学支援に取り組んでいる。

平成27年度は4名(大学)の留学生を受け入れた。この結果、平成27年度における大学院・大学・短期大学等における留学生数は9名(全員中国からの留学生)となった。

⑦ 基礎力向上のための入学前・入学後教育の実施

多様な入試形態の実施や入学してくる学生・生徒の気質や考え方の変化に伴い、音楽基礎力が不足している学生の入学も増加しており、このことが入学後の修学あるいは学生生活において問題や支障を来す要因にもなっている。このため、AO入試による入学者については入学前にスクーリング(2回～4回)を実施し、楽典・ソルフェージュの基礎力養成のための学習を実施している。

また、入学後にはソルフェージュによるクラス分けを行い、力不足が見られる学生については基礎クラスにおいて基礎力の向上を図っている。

(5) 国際化の推進について

① 海外演奏会等による国際交流活動

大学では、4年次に必修科目として卒業演奏(海外における演奏)を実施しているが、平成27年度はハンガリー(ブダペスト市)を訪れた。ブダペストにおける演奏会では、学生による器楽アンサンブルや合唱劇「なめとこ山の熊」のパフォーマンスを行い、日本の文化や音楽芸術を伝えるとともに、現地の人々との交流を通じて音楽人として豊かな感性を育み、また海外の文化についても知識を広げることができた。また、音楽を通してハンガリーとの友好の輪を広げ日本の音楽大学としての国際交流の役割を果たした。

〔海外演奏旅行の概要〕

日 程	平成27年10月15日(木)～10月22日(木)
訪 問 国	ハンガリー(ブダペスト市)
演 奏 日	平成27年10月11日(土)
演 奏 会 場	イタリアン インスティテュート
指 揮	・器楽アンサンブル(指揮 加古 勉教授) ・合 唱(指揮 藤井宏樹特任准教授)



【写真】大学4年生卒業演奏会「器楽アンサンブル」
(於：ハンガリー)



【写真】大学4年生卒業演奏会「合唱『なめとこ山の熊』」
(於：ハンガリー)

② 世界遺産トーチランコンサート (ユネスコパートナーシップ事業)

東邦音楽短期大学 城之内ミサ特任教授は、ユネスコ・パリ本部から『ユネスコ平和芸術家 (UNESCO Artist for Peace)』に任命され、音楽を通じて様々な平和活動を世界中で行っている。

《世界遺産トーチランコンサート》は、ユネスコパートナーシップ事業として、城之内ミサ特任教授が、世界平和、世界遺産・環境保護、教育を目的に世界各国で展開しているものである。世界遺産トーチランコンサートには、附属東邦中・高等学校の生徒が合唱団として参加し、そのさわやかな歌声は多くの聴視者に感動を与えている。

[平成27年度世界遺産トーチランコンサート]

(附属中・高等学校生徒が参加したもの)

年 月 日	会 場
6月19日	東京国際空港旅客ターミナル [EDO HALL]
7月17日	東京国際空港旅客ターミナル [EDO HALL]
8月14日	東京国際空港旅客ターミナル [EDO HALL]
10月16日	東京国際空港旅客ターミナル [EDO HALL]
11月27日	三菱自動車工業本社ビル
12月20日	スタジオ「グリーンバード」(合唱CD録音)
1月8日	東京国際空港旅客ターミナル [EDO HALL]
2月5日	東京国際空港旅客ターミナル [EDO HALL]
3月26日	成城学園前成城コルティ

3. 管理運営等

(1) 職員の資質・知識・技術等の向上及び事務の効率化

学園及び大学等の職員としての資質、知識・技能の向上を図るため、事務系職員をできるだけ学内の会議や委員会等に参画させ、学園の現状や課題等について認識させ、自らの課題として取組むよう意識改革を図るとともに、大学等を取り巻く社会情勢や変革に対応できる知識や情報等を修得させるために学外の会議・研修会にもできる限り参加させている。

[平成27年度 会議・研修会等への参加状況]

開催日	会議・研修会等
5月8日	東京都私立短期大学協会 春季フォーラム
5月14日	日本私立短期大学協会 春季定期総会
5月21日	埼玉県学事課 教頭・事務長会議
5月22日	川越市中心地活性化協議会
5月25日	埼玉県主催 就学支援金事務説明会
5月25日	アート&クリエイティブ企業説明会
5月28日	東京都主催 就学支援金事務説明会
5月28日	埼玉県インターンシップ推進協議会
6月1日	埼玉県インターンシップ新システムガイダンス
6月6日	文科省 大学入学者選抜・教務関係事項連絡協議会
6月6日・7日	大学教育学会主催 シンポジウム/ラウンドテーブル等 「ところで学生は本当に育っているのだろうか？」
6月9日	埼玉県インターンシップマッチングフェア
6月13日・14日	NPO 法人 NEW VERY 主催 講演・研修会 「これからの大学人事戦略を考える～いかに大学改革チームを組成するか～」～私立大学～
6月16日	学生支援機構全国キャリア・就職ガイダンス
6月19日	私大協 第58回関東地区連絡協議会
6月26日	東京しごとセンターキャリア担当研修会

7月3日	大学行政管理学会主催 講演・研修会 「大学のガバナンス改革と職員の役割」 文科省 義本博司様 他
7月14日	大学のグローバル化戦略の実現に向けて
8月27日	埼玉県私学振興財団 約款の改正及び事務手続きに関する説明会
8月29日	日本学生支援機構 障害学生支援ワークショップ
9月4日	私大協 私立短期大学図書館教職員研修会
9月5日・6日	大学行政管理学会主催 定期総会と研究集会 「未来の社会を元気にするために大学ができること」
9月6日	東京学芸大学教員養成評価開発研究プロジェクト主催 教員養成課程のアクレディテーションの活用に向けて
9月14日	関東地域大学グループ夏期合宿
9月16日	東京都主催 私立学校経常費補助金事務説明会
9月18日	NPO 法人 NEW VERY 主催 職員ミドルマネージャーの本気を引き出す！ 高大接続の現場から見る職員の役割と課題
9月30日	日本国際教育支援協会主催 学生教育研究災害傷害保険説明会
10月5日	日本学生支援機構主催 全国障害学生支援セミナー「体制整備セミナー」
10月20日	埼玉県インターンシップ推進協議会
10月21日	NPO 法人 NEW VERY 主催 「教育の質保証」実践セミナー
10月22日	文科省主催 文京施設セミナー「未来につながる学校づくりセミナー」
10月23日	マイナビ セミナー
10月28日	第4・5・6・7支部合同税務研修懇親会
11月5日	東京新卒ハローワーク就職連絡会議
11月7日	日本音楽療法学会主催 日本音楽療法学会 第5回受験認定各位との懇談会（会議）
11月11日	埼玉県教育委員会主催 教職養成課程を有する大学との連携協議会
11月13日	ディズニーマナーセミナー
11月13日	防災セミナー
11月14日	2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた芸術系 大学の連携の在り方に関する懇談会
11月14日～17日	日本学生相談学会主催 全国学生相談研修会
11月16日	私立大学協会主催/平成27年度教育学術充実協議会（講演） 「高大接続改革と私立大学」
11月16日	私大協 教育学術充実協議会
11月18日	関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 第3部会 第2回「研究会」
11月20日	私大協 第59回関東地区連絡協議会
11月24日	日本私立大学団体連合会 私立大学振興大会

11月 24日	全国芸術系コンソーシアム（仮称）設立準備会
11月 25日	東京都私立短期大学協会 秋季フォーラム
11月 25日	東京都私立短期大学協会 秋季定例会員総会
11月 25日	東京都私立短期大学協会フォーラム
11月 28日	ベネッセ シンポジウム
11月 28日・29日	大学教育学会主催 課題研究集会 「連携から広がる時代の大学教育」 課題研究：アクティブ・ラーニングについて研究結果発表等
12月 7日	千葉大学アカデミックセンター主催 ALPS プログラムキックオフシンポジウム 文科省 辻邦章様/桜美林大 篠田道夫様 等
12月 10日	教員免許取得希望者の社会福祉施設における 介護等体験事業 学校説明会
12月 11日～13日	愛媛大学主催 SD コーディネーター養成研修会
12月 14日	全国芸術系コンソーシアム第1回設立準備会
12月 16日	厚労省「Lo活プロジェクト会議」
12月 19日	関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 2015年度 第2回研究懇話会及び情報交換会
12月 21日	メンタルヘルス 子ども理解セミナー
12月 21日	文部科学省主催 教職課程 課程認定等に関する事務担当者説明会
1月 22日	全国芸術系コンソーシアム（仮称）第2回設立準備会
1月 15日	私大協 関東地区連絡協議会「新春講演会」「新年賀詞交歓会」
1月 29日	東京都私立短期大学協会 就職担当者意見交換会
1月 29日	文科省主催 学校法人運営協議会
1月 29日	東京都私立大学協会主催 就職担当者意見交換会
2月 10日	飯田橋ハローワーク主催 障害者雇用促進セミナー
2月 15日	三井住友銀行学校推薦採用説明会
2月 15日	学生支援機構 体制支援整備セミナー
2月 15日	川越市中心活性化協議会主催 中心街活性化協議会
2月 16日	学生支援機構 奨学金事業部会
2月 17日	埼玉インターンシップ協議会主催 埼玉インターンシップフォーラム打ち合わせ
2月 22日	マイナビ主催 就活スケジュール変更についてのシンポジウム 「申し合わせの真意」
2月 23日	障害・求職雇用支援機構 障害者雇用納付金制度事務説明会
2月 28日	yamaha music media 主催 「音大卒の戦い方」出版記念シンポジウム[キャリア支援] 「音大生の武器と戦い方」 大内孝夫様
2月 29日	埼玉インターンシップ協議会主催 埼玉インターンシップフォーラム（当日）
3月 3日	全国芸術系大学コンソーシアム／文化プログラム WG 音楽準備

	部会（仮称）
3月3日	東京都主催 就学支援金事務説明会（平成28年度向け）
3月4日	東京都私立短期大学協会 認証評価等研修会
3月4日	システム研究機構 情報セキュリティーセミナー
3月9日	日本学生支援機構主催 「キャリア教育・就職支援」ワークショップ
3月24日	ふじみ野市との連絡協議会
3月25日	高等教育情報センター主催 AP・CP・DP ポリシーの進化と学習成果の検証Ⅱ - 1 濱名篤先生・佐藤浩章先生
3月26日	高等教育情報センター主催 AP・CP・DP ポリシーの進化と学習成果の検証Ⅱ - 2 文科省北岡龍也様・菊池重雄先生

(2) 同窓会（邦友会）・後援会との連携強化及び在学生・卒業生に対する支援活動

① 東邦音楽大学同窓会（邦友会）は、平成16年度に従来の組織を改め新たに再スタートし現在会員数は1,800人である。本学園は会員に対しては学園の情報誌「エコー」等を通じて様々な情報を提供している。

また、学園と卒業生との連携をより密にするとともに、入学者数の拡大を図ることを目的として導入している卒業生推薦入試において、平成28年度入試では大学に4人、短期大学に3人、中・高等学校及び第二高等学校に17人、合計24人が入学した。

② 東邦音楽大学・東邦音楽短期大学の学生及び大学に対する教育支援を目的として、大学・短期大学の父母保証人の有志からの働きかけにより、平成26年9月に「東邦音楽大学・東邦音楽短期大学後援会」が設立された。

平成27年度は、読売新人演奏会出演の学生に給付金を支給した。

今後は、学園と後援会の密接な連携を図り、学生の教育研究並びに学生生活に対する支援等について充実を図っていくこととしている。

(3) 業務の効率化・合理化及び勤務体制の見直し

学園の運営において業務の効率化、合理化は避けて通れない命題であり、絶えず業務の見直し等を行っているところであるが、平成27年度においても、教学及び演奏部門の事務や音楽学校、エクステンションセンターの事務について時差出勤や交代制勤務等を実施し、超過勤務の縮減や、業務の円滑実施に努めた。

また、派遣職員の期間満了を期に当該派遣職員を嘱託職員へ採用するなど、業務の円滑化を図った。

②学園の施設については、大学等の行事等に支障がなく、かつ社会的にも有効である場合は、学園の資源を積極的に社会へ提供し、社会や地域へ貢献するという学園の方針に基づき積極的に貸出等を行っている。

平成27年度については、施設等の貸出しによる収入は、約680万円であった。

[平成27年度に大学の施設等を利用した団体等]

○ 文京キャンパス

(社)全日本ピアノ指導者協会	
(有)IMC音楽出版(ショパンピアノコンクールインアジア)	
PTNA 文京音の泉ステーション	
大阪桐蔭高校吹奏楽部	
混声合唱団コールクライス	
トロンボーン・クアルテットジパング	
楷合唱団	
ベーテン音楽協会	
(株)ジュエル・ミュージック	
特定非営利活動法人「音楽ネットワーク」	ほか

○川越キャンパス

川越市立南古谷中学校	
日本音楽療法学会	
ふじみ野市立葦原中学校	
(株)東映テレビプロダクション	
ピティナ	
(株)ビデオフォーカス	
(株)日テレアックスオン	
川越市立今成小学校	
(株)イメージフィールド	ほか

(4) 広報入試センターの活動

広報入試センターは、学生生徒獲得のため、次のような事業を中心に活動を強化拡充した。

① 学校訪問の訪問校の精査と訪問強化

訪問校重点校を絞り、さらに S・A・B のランクに区分することにより、より重要性の高い優先校である認識を訪問教員で共有する。それにより訪問校とのパイプ強化を図る。訪問回数を2回～3回とする。

② 東邦インフォメーション&管楽器クリニックの拡大

従前、鹿沼東高校で開催していた東邦インフォメーション&管楽器クリニックを、春日部東高校での開催を追加。【10月25日(日)開催】

目的：吹奏楽部の生徒に各楽器の練習方法等の指導をすると共に、本学の説明を聞いて頂き受験生確保に繋げる。

内容：春日部東高校での内容は、高校側からの要望で鹿沼東高校とは異なり、アンサンブルクリニックとした。(春日部東高校以外にも1校、中学校2校も参加)

③ 附属高校「進学講座」の実施強化

高校3年間で6回の開催としていたが、今年度から7回の開催とした。

目的：附属生の大学（短大）進学率アップ

内容：大学・短大概要説明、特徴ある専攻・コース紹介、各専攻のレクチャーコンサート、学生コンサート&トーク、教員コンサート 他

4. 施設・環境の整備

(1) 文京キャンパスの施設・環境改善について

学生生徒の安全性を確保し、教育環境に相応しい施設とするため、文京キャンパスの校舎等の一部について耐震化を図ることとし、耐震診断の結果を踏まえ、第一講堂及び2A号館の解体工事が完了した。

また、温水洗浄便座付トイレに順次改修することとし、平成27年度からその一部の改修に着手した。

(2) 川越キャンパスの緑化及び環境整備

川越キャンパスにおいては、環境整備を図る観点から構内の芝生化や樹木及び花の植栽に努めるとともに、外来者等へのサービスや施設管理のために建物等の案内表示板や外灯の設置等を行っている。

(3) 環境保護に努めるためのリサイクル活動の推進

学園では、日頃から、リサイクル活動の一環としてゴミの収集・分別等について、教職員、学生・生徒に対して徹底を図っており、学生・生徒はこの趣旨に賛同し、特に演奏会や東邦祭等外部から多数の来学者がある場合、自ら率先してゴミの清掃等を行っている。

また、附属中・高等学校では、平成24年2月からNPO法人（内閣府認証）エコキャップ推進協会が行っている「ペットボトルのキャップを集めることで地球環境を改善する」、「世界の子どもたちにワクチンを送る」という活動の趣旨に賛同し、ペットボトルのキャップ回収運動を積極的に行っており、平成27年度においても約155,000個のキャップを回収した。

5. 安全管理

(1) 監視カメラの設置等

川越キャンパス及び文京キャンパスには監視カメラを設置し、事務室及び警備員室において監視を行うことにより、事故及び盗難並びに不審者等の侵入防止等、学内における安全確保に努めている。

(2) 火災及び地震等の自然災害への対応について

① 4月のオリエンテーションの際に、川越キャンパス及び文京キャンパスにおいてそれぞれ避難訓練を実施した。

また、9月1日（火）には「防火・防災対策委員会（委員長：理事長）」を開催した。委員会では、キャンパスごとに消防計画を策定し、自衛消防隊組織、地震及び火災発生時の対応等について確認するとともに、教職員に対する周知を図った。



【写真】 災害時の避難訓練で消防署員から指導を受ける附属中高生徒

② 東京都文京区との災害時における相互協力

平成 27 年 2 月に、学園が所在する文京区との間において、災害時における区民、在学者、在勤者及び文京区の区域内を訪れた者並びに学園の学生、生徒及び教職員等の安全確保を図るため、災害対策上必要な事項を定めた「災害時における相互協力に関する協定」を締結した。

③ 東京都及びその近県における地震等の災害が発生した場合の緊急対応のため、文京キャンパス及び川越キャンパスに簡易自家発電機及び非常食を配備している。

また、附属中・高等学校では東京都の「私立学校防災用品緊急整備費助成事業」により防災備品について整備を図った。

(3) 身体障害者や高齢者に配慮したキャンパスづくり

川越キャンパス 16 号館は、玄関口へのスロープの設置、車椅子利用者のため箱内に鏡を取り付けたエレベータの設置、身障者用トイレの設置など様々な措置を講じている。また、文京キャンパスでは正面玄関の階段には取り外し式のスロープ板を利用しているが、学園としては、今後とも身体障害者や高齢者に配慮にしたキャンパスづくりに努めることとしている。

また、平成 28 年 4 月 1 日に学内組織として「障害学生生徒支援センター（愛称：スマイルデスク）」を設置し、これまで以上に障害のある学生生徒への支援を強化することとしている。

6. 情報公開の推進

(1) 大学等の情報公開については、大学の責務として求められており、学園においてもキャンパス情報や入試等の情報、演奏会等の各種音楽活動等についてホームページや広報誌等を通じて、常に最新の情報を提供している。

なお、本学園のポートレートについて、平成 27 年 9 月 9 日付けの日本経済新聞にお

いて、その表記を工夫している私立大学の代表例として取り上げられた

(2) 学園は、毎年度ホームページにおいて「学校法人三室戸学園事業報告」を公開するとともに、平成 21 年度から教育情報や財務状況についても公開している。

また、東邦音楽大学及び東邦音楽短期大学における第三者評価資料「東邦音楽大学自己点検報告書」、「東邦音楽短期大学機関別評価結果」についてもホームページに掲載し公表するなど、積極的に情報の公開に努めている。

7. その他

(1) 概要でも述べたように、学園としての経営及び教育研究水準を維持するためには学生・生徒の確保が最重要課題であり、平成 28 年度入試について、関係部局が密接な連携をとりながら次のような事業を実施した結果、大学院は入学定員を確保したが、大学については非常に厳しい結果となった。

- ① 指定校給費制度
- ② 学校訪問
- ② オープンキャンパス
- ③ 進学説明会、キャンパス体験・見学会
- ④ 夏期・冬期・講習会
- ⑤ 社会人入学説明会（短期大学） 等

平成 27 年度は、広報入試センターの中に設けている「学生募集ワーキングチーム」と事務本部が連携を図りながら、これまで以上により具体的かつ効果的な活動を推進した。特に、大学及び短期大学については、年度開始から高等学校及びピアノ教室等の訪問について実効性のある方策により実施した。

なお、平成 28 年度から「広報入試センター」と「企画室」を統合することにより、学生生徒の確保の取り組みについて、一元的に行うことを現在検討している。

大学・大学院の定期演奏会

日程	演奏会名	会場
7月25日(土)	第187回 定期研究発表演奏会 〔大学・短大 ソロの部〕	東邦音楽大学グランツザール
10月4日(日)	東邦音楽大学・東邦音楽短期大学 第10回 トライアルコンサート～オーケストラとの共演～	東邦音楽大学グランツザール
11月21日(土)	第188回 定期研究発表演奏会 〔大学・短大 合唱の部〕	東邦音楽大学グランツザール
11月27日(金)	第189回 定期研究発表演奏会 〔大学・短大 オーケストラの部〕	めぐろパーシモンホール
12月15日(火)	ウェスタ川越オープン記念 第190回 定期研究発表演奏会 〔大学・短大 ウインドオーケストラの部〕	ウェスタ川越 大ホール
12月19日(土) 23日(水・祝)	東邦音楽大学大学院 1年次生演奏会	東邦音楽大学グランツザール
1月17日(日)	中学生・高校生のための 第12回日本管弦打楽ソロ・コンテスト 受賞記念演奏会 ～文部科学大臣賞選考会～	東邦音楽大学グランツザール
1月27日(水)	第192回 定期研究発表演奏会 〔中・高・二高 ソロの部〕	東邦音楽大学グランツザール
2月20日(土)	東邦音楽大学大学院 修士課程学位審査修了演奏会	東邦音楽大学グランツザール
3月6日(日)	東邦音楽大学・東邦音楽短期大学 卒業代表演奏会	東邦音楽大学グランツザール



【写真】 第188回定期研究
発表演奏会

日程	演奏会名	会場
5月16日(土)	TOHO Saturday Concert アンサンブル “ル・ブルジョン”	創立50周年記念館ホール
6月27日(土)	TOHO Saturday Concert 本学教授陣の演奏によるスペシャル編	創立50周年記念館ホール
9月5日(土)	TOHO Saturday Concert 弦楽四重奏曲・ピアノ五重奏曲	創立50周年記念館ホール
12月5日(土)	TOHO Saturday Concert 本学教授陣の演奏によるスペシャル編	創立50周年記念館ホール
1月30日(土)	TOHO Saturday Concert 弦楽四重奏曲	創立50周年記念館ホール
2月27日(土)	TOHO Saturday Concert エレクトーン ソロ&デュオ	創立50周年記念館ホール

依頼演奏・ボランティアコンサート

日程	演奏会名	会場
4月24日(金)	国際ソロピアニスト埼玉 40周年記念式典	川越プリンスホテル
5月2日(土)	ラ・フォル・ジュルネ	東京国際フォーラム
5月3日(日)	ラ・フォル・ジュルネ	東京国際フォーラム
5月4日(月)	ラ・フォル・ジュルネ	東京国際フォーラム
5月13日(水)	水曜学級開講式	鶴瀬西交流センター
5月16日(土)	つくばイオンモール 大井小学校フレッシュコンサート	つくばイオンモール 大井小学校体育館
5月17日(日)	キッチンコンサート	大東ガス展示プレイス
5月21日(木)	第226回大塚病院院内ミニコンサート	大塚病院
5月22日(金)	南古谷公民館主催会食会	東部地区ふれあいセンター
5月27日(水)	第222回シビックコンサート	文京シビックセンター
6月3日(水)	第50回西部地区吹奏楽研究発表会	所沢ミュージズ
6月5日(金)	第50回西部地区吹奏楽研究発表会	所沢ミュージズ
6月6日(土)	北関東甲信越音楽系高等学校演奏会	グランツザール
6月9日(火)	南古谷小学校音楽鑑賞教室	川越市立南古谷小学校
6月15日(月)	貞静幼稚園 音楽鑑賞会	貞静幼稚園
6月16日(火)	ふじみ野市立小・中学校音楽鑑賞教室	ふじみ野市立ふじみの小学校
6月17日(水)	ふじみ野市立小・中学校音楽鑑賞教室	ふじみ野市立ふじみの小学校
6月18日(木)	第227回大塚病院院内ミニコンサート	大塚病院 B1F ホール
6月19日(金)	Rising Artist Concert Vol6	ヤマハホール
6月26日(金)	青梅市音楽鑑賞教室	福生市民会館
7月8日(水)	愛和病院「8の日コンサート」	愛和病院
7月12日(日)	第5回南古谷ウインド定期演奏会	グランツザール
7月17日(金)	日私学保連 10周年記念式典祝賀会	市ヶ谷アルカディア
7月22日(水)	第224回シビックコンサート	文京シビックセンター
7月23日(木)	第228回大塚病院院内ミニコンサート	大塚病院 B1F ホール
7月25日(土)	第187回定期研究発表演奏会	グランツザール
7月26日(日)	氷川神社～縁結び風鈴イベント	氷川神社
8月1日(土)	南田島自治会納涼祭	南田島公民館
8月8日(土)	愛和病院「8の日コンサート」 愛の家 夕涼みコンサート	愛和病院 愛の家保育園 園内
8月9日(日)	氷川神社～縁結び風鈴イベント	川越氷川神社
8月16日(日)	氷川神社～縁結び風鈴イベント	川越氷川神社
8月27日(木)	ヒューマンフェスタ 2015in 川越	ウエスタ川越大ホール
8月29日(土)	2音大クラシックコンサート 氷川神社～縁結び風鈴イベント	ウエスタ川越大ホール 川越氷川神社
8月30日(日)	氷川神社～縁結び風鈴イベント	川越氷川神社
9月5日(土)	文の京レッジコンサート	文京シビック
9月13日(日)	ふれあいはーとお楽しみ会	江川分館(ふじみ野市)
9月19日(土)	東日本津波遺児募金チャリティー 「第5回 大学ビッグバンド・ジャズフェスティバル」	ウエスタ川越
9月24日(木)	第229回大塚病院院内ミニコンサート 南古谷チャリティーゴルフ	大塚病院 B1F ホール 大宮国際カントリークラブ
10月2日(金)	川越中央図書館 夜の図書館ミニコンサート	川越中央図書館
10月7日(水)	NEC チャリティーコンサート	NEC ネットズエスアイ 飯田橋本社ビル 1F ロビー
10月14日(水)	ふじみ野市立駒西小学校音楽鑑賞教室	駒西小学校第2音楽室

10月22日(木)	第230回大塚病院院内ミニコンサート	大塚病院 B1F ホール
10月24日(土)	真寿園地域感謝祭	真寿園
10月28日(水)	第227回シビックコンサート	文京シビックセンター
10月30日(金)	入間市立向原中合唱祭招待演奏	入間市民会館
11月4日(水)	小さなこどものためのコンサート	キラリふじみ
11月7日(土)	ふくしま復興祈念特別演奏会 大塚福祉作業所いっぽ祭り	郡山市民文化センター 大塚福祉作業所
11月12日(木)	富士見市中学校音楽祭	キラリふじみメインホール
11月15日(日)	福島県南相馬市応援企画 復興支援チャリティイベント	ユニクス広場
11月26日(木)	第231回大塚病院院内ミニコンサート 警備業協会表彰式	大塚病院 B1F ホール 警備業協会
11月27日(金)	南古谷会食会	東部地域ふれあいセンター
12月6日(日)	オーケストラフェスティバル	ミュゼ川崎シンフォニーホール
12月9日(水)	第229回シビックコンサート	文京シビックセンター B2F 区民ひろば
12月10日(木)	第232回大塚病院院内ミニコンサート	大塚病院 B1F ホール
12月23日(水)	サイホクハム クリスマスコンサート	サイホクハム温泉施設ピエー
12月24日(木)	丸広百貨店クリスマスコンサート	6階催事場
1月10日(日)	ニューイヤーコンサート in 南古谷	グランツザール
1月22日(金)	真寿園ミニコンサート	真寿園
1月24日(日)	ふじみ野市新春議場コンサート 自衛隊合同コンサート	ふじみ野市議会本会議場 グランツザール
2月13日(土)	アトレ丸広(川越店) サイホクハム クリスマスコンサート	弦楽四重奏 サイホクハム温泉施設ピエー
2月19日(金)	川越市議場コンサート	川越市役所庁舎 6F
2月21日(日)	キッチンコンサート	大東ガスプチプラム富士見店
2月24日(水)	第231回シビックコンサート	文京シビックセンター B2F 区民ひろば
2月25日(木)	第233回大塚病院院内ミニコンサート	大塚病院 B1F ホール
3月17日(木)	第234回大塚病院院内ミニコンサート	大塚病院 B1F ホール
3月23日(水)	ウインドアンサンブル自主公演	ウェスタ川越大ホール
3月26日(土)	文京さくらまつり	播磨坂

大学・短期大学 学生募集に関する イベント・講習会

日程	イベント	会場
5月16日(土)	短大 キャンパス体験	文京キャンパス
5月23日(土)	大学 高校生入門 MT/MD	川越キャンパス
	短大 高校生入門 CA	文京キャンパス
5月30日(土)	大学 キャンパス体験	川越キャンパス
6月13日(土)	大学 高校生入門 MT/MD	川越キャンパス
	短大 高校生入門 CA	文京キャンパス
6月20日(土)	短大 キャンパス体験	文京キャンパス
6月27日(土)	大学 キャンパス体験	川越キャンパス
7月12日(日)	短大 オープンキャンパス	文京キャンパス
7月19日(日)	大学 オープンキャンパス	川越キャンパス

7月26日(日)	ピアノセミナー	文京キャンパス
8月2日(日)	大学・短大夏期受験スキルアップ講習会	文京キャンパス
8月3日(月)		
8月4日(火)		
8月22日(土)	声楽セミナー	文京キャンパス
8月22日(土)	短大 オープンキャンパス	文京キャンパス
8月23日(日)	大学 オープンキャンパス	川越キャンパス
9月5日(土)	大学 高校生入門 MT/MD	川越キャンパス
	短大 高校生入門 CA	文京キャンパス
9月19日(土)	大学 キャンパス体験	川越キャンパス
9月26日(土)	短大 キャンパス体験	文京キャンパス
10月4日(日)	大学 オープンキャンパス	川越キャンパス
10月10日(土)	大学・短大 入試対策	文京キャンパス
10月18日(日)	短大 オープンキャンパス	文京キャンパス
10月24日(土)	大学・短大 入試対策	文京キャンパス
11月7日(土)	大学 高校生入門 MT/MD	川越キャンパス
	短大 高校生入門 CA	文京キャンパス
11月22日(日)	大学 見学会	川越キャンパス
11月28日(土)	短大 キャンパス体験	文京キャンパス
12月5日(土)	大学 高校生入門 MT	文京キャンパス
12月12日(土)	大学 キャンパス体験	川越キャンパス
12月19日(土)	短大 キャンパス体験	文京キャンパス
12月25日(金)	大学・短大冬期受験スキルアップ講習会	文京キャンパス
12月26日(土)		
12月27日(日)		
2月6日(土)	大学 高校生入門 MT	文京キャンパス
3月5日(土)	大学 高校生入門 MT/MD	川越キャンパス
3月12日(土)	大学 キャンパス体験	川越キャンパス
3月19日(土)	短大 高校生入門 CA	文京キャンパス
3月26日(土)	短大 キャンパス体験	文京キャンパス

東邦音楽大学附属中学校・高等学校学内演奏会

日程	イベント	会場
4月14日(木)	新入生歓迎演奏会	文京キャンパス 第一講堂
5月30日(土)	クラスコンサート(中2)	文京キャンパス 50周年記念館
6月6日(土)	クラスコンサート(高2)	文京キャンパス 50周年記念館
11月18日(水)	平成27年度 東邦音楽大学附属 東邦中学校・ 東邦高等学校・東邦第二高等学校 合唱コンクール	東邦音楽大学 グランツザール
12月12日(土)	クラスコンサート(高1・中1)	文京キャンパス 50周年記念館
12月20日(日)	第191回 定期研究発表演奏会 [中・高・二高 合奏、合唱の部]	東邦音楽大学 グランツザール
1月27日(水)	第192回 定期研究発表演奏会 [中・高・二高 ソロの部]	東邦音楽大学 グランツザール
2月13日(土)	卒業演奏会(中学)	文京キャンパス 50周年記念館
2月19日(金)	卒業演奏会(高校)	文京キャンパス 50周年記念館

東邦音楽大学附属中学校・高等学校ボランティア活動・ボランティアコンサート等(一部重複掲載)

日程	イベント	会場
通年	エコキャップ運動 (生徒会 JR大塚駅)	文京キャンパス
6月9日(火)～ 6月13日(土)	ネパール大地震支援募金活動 (生徒会)	文京キャンパス
6月18日(木)	院内ミニコンサート	都立大塚病院
10月7日(水)	文京区地域安全のつどい (警視庁本富士警察署)	文京シビックセンター 小ホール
11月9日(月)	秋の火災予防運動『防火の集い』 (東京消防庁小石川消防署)	文京シビックセンター 小ホール
11月26日(木)	院内ミニコンサート	都立大塚病院
12月16日(水)	ボランティアコンサート	アリア文京大塚
12月16日(水)	ボランティアコンサート	グローバルキッズ新大塚 園

1月6日(水)	武道始式 (警視庁大塚警察署)	関口台小学校
3月17日(木)	院内ミニコンサート	都立大塚病院



【写真】附属中高生徒による都立大塚病院での院内ミニコンサート

東邦音楽大学附属東邦中学校・東邦高等学校

生徒募集に関する「音楽アドバイス・学校説明会・夏期講習」等

日程	イベント	会場
5月17日(日)	進学相談会(中学)	国際フォーラム
5月31日(日)	文京区連合説明会	秋葉原 UDX
6月13日(土)	音楽アドバイス	東邦中学校 東邦高等学校
6月20日(土)	学校説明会	東邦中学校 東邦高等学校
6月27日(土)	音楽アドバイス	東邦中学校 東邦高等学校
7月11日(土)	音楽アドバイス	東邦中学校 東邦高等学校
7月25日(土) 7月26日(日)	進学相談会	国際フォーラム
8月21日(金)	夏期講習会	文京キャンパス 50周年記念館
8月22日(土)		東邦中学校 東邦高等学校
9月26日(土)	音楽アドバイス	東邦中学校 東邦高等学校
10月10日(土)	音楽アドバイス	東邦中学校 東邦高等学校
10月18日(日)	東京私立中学・高等学校 池袋進学相談会	池袋サンシャインシティ

10月24日(土)	学校説明会	東邦中学校 東邦高等学校
10月31日(土)	音楽アドバイス	東邦中学校 東邦高等学校
11月14日(土)	音楽アドバイス	東邦中学校 東邦高等学校
11月28日(土)	音楽アドバイス	東邦中学校 東邦高等学校
12月5日(土)	音楽アドバイス	東邦中学校 東邦高等学校
12月23日(水)	入試直前講習会 (小6・中3対象)	東邦中学校 東邦高等学校
1月16日(土)	入試直前講習会 (小6のみ対象)	東邦中学校 東邦高等学校
3月26日(土)	春期特別音楽アドバイス (小5・中2対象)	東邦中学校 東邦高等学校

東邦音楽大学附属第二高校

「音楽アドバイス・学校説明会」等

日程	イベント	会場
5月16日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス	東邦第二高等学校
5月30日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス	東邦第二高等学校
6月13日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス	東邦第二高等学校
6月20日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス	東邦第二高等学校
6月27日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス	東邦第二高等学校
7月11日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス	東邦第二高等学校
7月18日(土)	進学フェア	さいたまアリーナ
7月19日(日)	進学フェア	さいたまアリーナ
7月26日(日)	学校説明会	東邦第二高等学校
8月22日(土)	私学フェア	川越プリンス
8月23日(日)	私学フェア	川越プリンス
8月27日(木)	中学生のための音楽講習会	東邦第二高等学校
8月29日(土)	私学フェア	大宮ソニック
8月30日(日)	私学フェア	大宮ソニック
9月5日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス	東邦第二高等学校
9月12日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス	東邦第二高等学校

9月19日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス	東邦第二高等学校
9月26日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス	東邦第二高等学校
10月3日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス	東邦第二高等学校
10月10日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス	東邦第二高等学校
10月24日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス	東邦第二高等学校
10月31日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス	東邦第二高等学校
11月7日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス	東邦第二高等学校
11月21日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス	東邦第二高等学校
11月28日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス	東邦第二高等学校
12月5日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス	東邦第二高等学校
12月12日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス	東邦第二高等学校
12月19日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス(追加)	東邦第二高等学校
1月16日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス(追加)	東邦第二高等学校
1月23日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス(追加)	東邦第二高等学校
1月30日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス(追加)	東邦第二高等学校
2月6日(土)	音楽体験レッスン&アドバイス(追加)	東邦第二高等学校
2月10日(水)	音楽体験レッスン&アドバイス(追加)	東邦第二高等学校
2月8日(月)	音楽体験レッスン&アドバイス(追加)	東邦第二高等学校
12月18日(金)	音楽体験レッスン&アドバイス(追加)	東邦第二高等学校
3月26日(土)	春の体験レッスン(中2対象)	東邦第二高等学校

「演奏会」

日程	イベント	会場
4月18日(土)	新入生歓迎演奏会	
6月6日(土)	北関東甲信越音楽系高等学校演奏会	東邦音楽大学 グランツザール
11月18日(水)	東邦中学校・東邦高等学校・東邦第二高等学校 合唱コンクール	東邦音楽大学 グランツザール
11月26日(木)	クラスコンサート(2年)	東邦音楽大学 グランツザール
12月20日(日)	第191回 定期研究発表演奏会 〔中・高・二高 合奏、合唱の部〕	東邦音楽大学 グランツザール
1月10日(日)	ニューイヤーコンサート in 南古谷	東邦音楽大学 グランツザール

1月21日(木)	クラスコンサート(1年)	東邦音楽大学 グランツザール
1月27日(水)	第192回 定期研究発表演奏会 〔中・高・二高 ソロの部〕	東邦音楽大学 グランツザール
3月20日(日)	東邦第二高等学校ウインドオーケストラ 「スプリングコンサート」	東邦音楽大学 グランツザール



【写真】 第二高等学校ウインドオーケストラ
「スプリングコンサート」

Ⅲ. 平成 27 年度 決算及び財務の概要

1. 概況

わが国の私立学校を取り巻く状況は、急激な少子高齢化の進行、並びに生産年齢人口の減少、及び経済規模の縮小等により厳しい状況にある。

学園では、財政状況の安定化のために収入の重要な柱である学生生徒納付金の増収を図るため、前年度に引き続き学生生徒の確保を最重要課題として取組み、理事長を先頭に教授会をはじめとする様々な会議等において現状を説明するとともに、全学体制での推進について要請等を行っている。しかしながら、平成 27 年度決算は、管理経費の圧縮に努めたものの、学生生徒納付金収入等の減少により前年度より赤字額を縮小したものの当年度収支差額は支出超過の状況となっている。

2. 収支計算書（資金収支計算書・事業活動収支計算書）

平成 27 年度資金収支は、財務諸表<第 1 表>のとおり収入総額（前年度繰越支払資金を除く）1,987 百万円、支出総額（次年度繰越支払資金を除く）2,104 百万円で 117 百万円の支出増となっている。

前年度対比で見ると、収入については、学生数の減少等により学生生徒等納付金収入が 58 百万円減少、金利の低下等により受取利息・配当金も 10 百万円減少している。一方、補助金収入が 93 百万円、資産売却収入が 198 百万円各々増加している。また、支出については、人件費支出が 28 百万円、教育研究経費支出が 53 百万円、施設関係支出が 128 百万円各々増加しているが、管理経費支出が 75 百万円、設備関係支出が 48 百万円、資産運用支出が 202 百万円各々減少している。

平成 27 年度業務活動収支は、財務諸表<第 2 表>のとおり教育活動収支は、教育活動収入計 1,295 百万円、教育活動支出計 1,769 百万円で教育活動収支差額は△475 百万円となっている。教育活動外収支差額は 24 百万円となっており経常収支差額は△451 百万円となった。特別収支差額は 124 百万円、基本金組入前当年度収支差額は△327 百万円、基本金組入額合計は 45 百万円、当年度収支差額は△372 百万円、基本金取崩額が 266 百万円あり翌年度繰越収支差額は△4,646 百万円となった。

前年度対比でみると、経常収支差額は 1 百万円赤字額が増加、基本金組入前当年度収支差額は、特別収入もあり 114 百万円赤字額が減少した。

3. 貸借対照表

平成 27 年度貸借対照表は、財務諸表<第 3 表>のとおり資産総額 15,724 百万円（前年度比 374 百万円減少）、負債総額 704 百万円（前年度比 47 百万円減少）となっている。

資産総額の減少は、主に建物取壊しによる除却並びに減価償却額の計上等により固定資産 342 百万円が減少したこと、及び現金預金の減少等により流動資産が 32 百万円減少したことによる。

負債総額の減少は、借入金返済、退職給与引当金の減少等により固定負債が 46 百万円減少したことによる。

4. 対処すべき課題

(1) 収入増加方策

- ① 学生生徒を確保するため、設置校ごとの入学者数の目標を設定している。目標の達成のため「広報入試センター」の組織を改編、強化することとした。併せて教職員に対しては学園の現状等について説明し、学生確保の重要性について周知徹底及び協力を要請している。また、卒業生・後援会等にも学生確保の協力要請を行っている。

さらに外部に対して、本学の知名度を高めるとともに、他大学に比しての本学の特色・強み（教育環境・教育方法・教育内容等）をアピールして学生生徒を確保するように努める。そのために、演奏会等を実施するほか、オープンキャンパス、大学説明会、進学ガイダンス、出張授業（演奏）等の活動を積極的に実施する。

なお、短期大学については、本学の特徴（専攻・学費・長期履修制度等）を積極的に活用しながら社会人も含めた学生数の増加に努める。

- ② 大学エクステンションセンター、音楽学校、川越ミュージックセンターについては、地域や一般市民等のニーズに応えながらその活動の幅を広げているが、事業ごとの収支や費用対効果という観点から、さらなる努力と見直し等を進めていく。

(2) 支出抑制方策

支出については、予算編成に際して各部門の予算要求の段階からそれぞれの部局において見直しを求めながら学園全体として支出を抑制する。また、支出に当たっては、支出の要否について精査し支出総額を極力削減する。人件費については、常勤・非常勤及び嘱託・派遣等雇用の在り方についても効率化を進め支出の削減を図る。

計算書類<第1表>

資金収支計算書

平成27年4月 1日から

平成28年3月31日まで

(単位 千円)

科 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	増 減
(収入の部)				
学生生徒等納付金収入	1,036,243	918,327	859,893	△ 58,433
手数料収入	7,350	8,303	8,356	53
寄付金収入	10,050	4,520	5,491	971
補助金収入	281,467	262,425	355,098	92,672
資産売却収入	200,286	201,911	400,034	198,122
付随事業・収益事業収入	68,215	63,832	63,112	△ 720
受取利息・配当金収入	18,964	34,151	24,367	△ 9,784
雑収入	130,365	28,499	65,834	37,334
借入金等収入	0	200	0	△ 200
前受金収入	187,504	201,652	191,432	△ 10,220
その他の収入	371,288	327,697	334,005	6,308
資金収入調整勘定	△ 284,307	△ 220,877	△ 320,200	△ 99,322
前年度繰越支払資金	1,631,293	1,681,689	1,256,168	△ 425,520
収入の部合計	3,658,724	3,512,333	3,243,595	△ 268,737
(支出の部)				
人件費支出	1,000,733	954,423	982,399	27,975
教育研究経費支出	392,136	363,855	416,772	52,916
管理経費支出	206,510	247,457	172,156	△ 75,301
借入金等利息支出	1,487	1,047	608	△ 439
借入金等返済支出	27,054	27,254	26,654	△ 600
施設関係支出	0	3,152	131,626	128,474
設備関係支出	30,460	63,039	15,382	△ 47,656
資産運用支出	33,507	332,533	130,771	△ 201,761
その他の支出	326,922	322,034	323,975	1,941
資金支出調整勘定	△ 41,776	△ 58,632	△ 95,497	△ 36,864
翌年度繰越支払資金	1,681,689	1,256,168	1,138,746	△ 117,422
支出の部合計	3,658,724	3,512,333	3,243,595	△ 268,737

※千円未満は切り捨てて表示しております。

平成25年度及び平成26年度については改正後の学校法人会計基準にしたがい組替えて表示しております。

事業活動収支計算書

平成27年4月 1日から

平成28年3月31日まで

(単位 千円)

科 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	増 減
教育活動収支				
(事業活動収入の部)				
学生生徒等納付金	1,036,243	918,327	859,893	△ 58,433
手数料	7,350	8,303	8,356	53
寄付金	1,045	0	1,276	1,276
経常費等補助金	277,000	259,190	297,190	37,999
付随事業収入	68,215	63,832	63,112	△ 720
雑収入	132,112	30,615	65,057	34,441
教育活動収入計	1,521,968	1,280,269	1,294,887	14,617
(事業活動支出の部)				
人件費	974,817	913,400	956,055	42,655
教育研究経費	627,608	576,238	605,239	29,000
管理経費	229,740	268,252	204,557	△ 63,694
徴収不能額等	11,015	5,915	3,599	△ 2,315
教育活動支出計	1,843,181	1,763,806	1,769,451	5,645
教育活動収支差額	△ 321,213	△ 483,536	△ 474,564	8,972
教育活動外収支				
(事業活動収入の部)				
受取利息・配当金	18,966	34,657	24,578	△ 10,079
その他の教育活動外収入	0	0	0	0
教育活動外収入計	18,966	34,657	24,578	△ 10,079
(事業活動支出の部)				
借入金等利息	1,487	1,047	608	△ 439
その他の教育活動外支出	0	0	0	0
教育活動外支出計	1,487	1,047	608	△ 439
教育活動外収支差額	17,478	33,609	23,969	△ 9,640
経常収支差額	△ 303,734	△ 449,926	△ 450,595	△ 668
特別収支				
(事業活動収入の部)				
資産売却差額	117,572	1,702	97,440	95,737
その他の特別収入	14,519	8,401	63,695	55,293
特別収入計	132,092	10,103	161,135	151,031
(事業活動支出の部)				
資産処分差額	8,479	350	27,619	27,268
その他の特別支出	0	0	9,580	9,580
特別支出計	8,479	350	37,199	36,848
特別収支差額	123,612	9,752	123,935	114,182
基本金組入前当年度収支差額	△ 180,122	△ 440,174	△ 326,659	113,514
基本金組入額合計	△ 22,873	△ 78,368	△ 45,237	33,131
当年度収支差額	△ 202,995	△ 518,542	△ 371,897	146,645
前年度繰越収支差額	△ 3,818,853	△ 4,021,849	△ 4,540,392	△ 518,542

基本金取崩額	0	0	266,438	266,438
翌年度繰越収支差額	△ 4,021,849	△ 4,540,392	△ 4,645,851	△ 105,459

※千円未満は切り捨てて表示しております。

平成25年度及び平成26年度については改正後の学校法人会計基準にしたがい組替えて表示しております。

計算書類<第3表> 貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位 千円)

科 目	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末	増 減
(資 産 の 部)				
固定資産	14,543,889	14,404,960	14,063,390	△ 341,569
有形固定資産	12,752,572	12,577,252	12,475,227	△ 102,025
特定資産	1,020,242	1,048,178	1,017,232	△ 30,945
その他の固定資産	771,074	779,529	570,930	△ 208,598
流動資産	2,041,634	1,692,654	1,660,159	△ 32,494
資産合計	16,585,523	16,097,615	15,723,550	△ 374,064
(負 債 の 部)				
固定負債	427,112	359,635	313,947	△ 45,687
流動負債	371,712	391,455	389,738	△ 1,717
負債合計	798,824	751,090	703,685	△ 47,404
(純 資 産 の 部)				
基本金	19,808,547	19,886,916	19,665,715	△ 221,200
繰越収支差額	△ 4,021,849	△ 4,540,392	△ 4,645,851	△ 105,459
純資産合計	15,786,698	15,346,524	15,019,864	△ 326,659
負債・純資産合計	16,585,523	16,097,615	15,723,550	△ 374,064

※千円未満は切り捨てて表示しております。

平成25年度及び平成26年度については改正後の学校法人会計基準にしたがい組替えて表示しております。

平成27年度財産目録
(平成28年3月31日現在)

(単位 千円)

科 目	摘 要	金 額
固定資産の部	大計	14,063,390
有形固定資産	中計	12,475,227
土地	東京都文京区大塚校地ほか	7,105,979
建物	文京・川越キャンパス建物ほか	4,798,376
構築物	文京・川越キャンパス構築物ほか	131,106
建設仮勘定		43,390
教育用・管理用機器備品ほか		68,328
図書		328,048
特定資産	中計	1,017,233
第2号基本金引当特定資産ほか		1,017,233
その他固定資産	中計	570,930
有価証券ほか		570,930
流動資産の部	大計	1,660,160
現金・預金ほか		1,660,160
資産の部合計		15,723,550

科 目	摘 要	金 額
固定負債	大計	313,948
長期借入金ほか		359,635
流動負債	大計	389,738
短期借入金ほか		389,738
負債の部合計		703,686


科 目	摘 要	金 額
正味財産	資産合計－負債合計	15,019,864

※千円未満を四捨五入している為、合計等の数値が計算上一致しない場合があります。

監 査 報 告 書

平成28年5月26日

学校法人 三室戸学園
理 事 会 御中
評 議 員 会 御中

監 事 井上明俊 

監 事 和田正夫 

私たちは、学校法人三室戸学園(以下「学園」という。)の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて学園の平成27年度(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)における財産目録及び計算書類(貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動収支計算書)を含め、学園の業務及び財産に関し監査を行いました。

監査の結果、私たちは学園の業務及び財産に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認めました。

以 上

《財務情報の用語説明》

資金収支計算書

教育研究等の諸活動に対して生ずるすべての資金収入及び資金支出の内容を明らかにして、支払資金のてん末を明らかにするものです。

事業活動収支計算書

教育活動収支、教育活動外収支及び特別収支の 3 つの活動別の収支ごとに事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにして、かつ年度収支の均衡状態を明らかにするものです。

貸借対照表

年度末の資産、負債及び純資産の状態を表すものです。

資金収支計算書及び事業活動収支計算書の主な共通科目

[学生生徒等納付金収入]

学生生徒等から納入される授業料、入学金、実験実習料、施設設備資金等の収入です。

[手数料収入]

入学検定料、試験料や証明書発行に係る手数料収入です。

[寄付金収入]

金銭その他の資産を寄贈者から贈与されたもので、補助金収入とならないものをいいます。事業活動収支計算書では、施設設備の拡充等に対するものは「施設設備寄付金」として特別収入に計上され、それ以外は教育活動収入に計上されます。

[補助金収入]

国または地方公共団体からの助成金をいい、事業団及びこれに準ずる団体からの助成金を含みます。事業活動収支計算書では、施設設備の拡充等に対するものは「施設設備補助金」として特別収入に計上され、それ以外は教育活動収入の「経常費等補助金」に計上されません。

[付随事業・収益事業収入]

学校法人の教育研究活動のうち、付随的に生ずる事業収入で、学生生徒等の教育活動の補

助的活動収入、外部からの委託を受けて行う受託収入、寄附行為に記載した収益事業からの繰入収入等が計上されます。

[受取利息・配当金収入]

金融資産の受取利息や配当金です。

[雑収入]

資金収入科目のうち、学生生徒等納付金収入から受取利息配当金までの各科目以外の収入で、施設設備利用料収入、私立大学退職金財団交付金収入等を計上しています。

[人件費]

教職員等に支給する本俸・期末手当・各種手当、退職財団掛金等です。

[教育研究経費]

教育研究活動や学生生徒等の修学支援・課外活動支援に支出する経費です。

[管理経費]

総務・人事・経理業務や学生・生徒募集活動等、教育研究活動以外の活動に支出する経費です。

資金収支計算書にのみ計上される主な科目

[資産売却収入]

土地、建物、教育研究用機器備品、管理用機器備品等の施設設備の固定資産売却及び有価証券の売却に係る収入です。

[前受金収入]

翌年度分の学生生徒等納付金等が当年度に納入されたものです。

[その他の収入]

学生生徒等納付金から前受金収入までの各収入科目に含まれない収入です。前期末未収入金収入、預り金受入収入が主なものです。

[資金調整勘定（資金収入調整勘定・資金支出調整勘定）]

資金収支計算書には、資金収入調整勘定（期末未収入金・前期末前受金）と資金支出調整勘定（期末未払金・前期末前払金）が含まれています。資金収支は、当該年度における支

払資金の実際の収支だけで計算したものでは不十分なため、前年度以前に収入・支出されたもので当年度の活動に属するものと、翌年度以降に収入・支出となるもので当年度の活動に属するものを含めて計算します。すなわち、支払資金の実際の収支と当年度の諸活動に対応する収支とを一致させるための科目が資金調整勘定です。

[施設関係支出]

土地・建物・構築物等の取得に係る支出です。建物は、附属する電気・給排水・冷暖房等の施設設備を含みます。

[設備関係支出]

教育研究用機器備品・管理用機器備品（本学においては取得価額が10万円以上のものが基準となっている。但し例外あり。）・図書等の取得に係る支出です。

[資産運用支出]

有価証券の購入や特定資産として積み立てるための支出です。

[その他の支出]

人件費支出から資産運用支出までの各支出科目に含まれない支出です。主なものは預り金支払支出、前期末未払金支出であり、預り金支払支出として給与等に係る源泉所得税等、前期末未払金支払支出として共済掛金・退職金掛金等を計上しています。

事業活動収支計算書のみに計上される主な科目・名称

[事業活動収入]

事業活動収入とは、教育活動及び教育活動外から得られる経常的な収入とその他の活動から得られる臨時的な収入の合計をいいます。

[事業活動支出]

事業活動支出とは、教育活動及び教育活動外から発生する経常的な支出とその他の活動から発生する臨時的な支出の合計をいいます。

[教育活動収支]

教育活動収支とは、教育活動に係る収支であり、経常的な収支のうち教育活動外収支以外のものをいいます。具体的には、教育活動収入には、学生生徒等納付金、手数料、寄付金、経常費等補助金、付随事業収入、雑収入などが該当します。教育活動支出には、人件費、教育研究経費、管理経費などが該当します。なお、施設設備の取得に対する補助金・寄付

金は、臨時的な収入として下記【特別収支】の特別収入に計上されます。

〔教育活動外収支〕

財務活動等に係る事業活動収入及び事業活動支出の収支をいいます。具体的には、教育活動外収入には、特定資産運用収入、その他の受取利息・配当金などが該当します。教育活動外支出には、借入金等利息などが該当します。

〔経常収支〕

経常収支とは、経常的な事業活動による収支のことで、臨時的な収支である特別収支を除いた教育活動収支及び教育活動外収支の合計をいいます。

〔特別収支〕

特別収支とは、臨時的な事業活動に係る収支で、教育活動収支及び教育活動外収支以外のものをいいます。具体的には、特別収入には、資産売却差額、施設設備寄付金、現物寄付、施設設備補助金、過年度修正額などが該当します。特別支出には、資産処分差額、災害損失、過年度修正額などが該当します。

〔現物寄付〕

金銭ではなく物品による寄付です。資金の移動がないため事業活動収支計算書固有の科目となります。

〔資産売却差額〕

有価証券や教育研究用機器備品などを売却し、その売却収入が帳簿価額を超える場合、その差額を計上したものです。

〔基本金組入額〕

学校法人が教育研究活動を行っていくためには、校地・校舎・機器備品・図書・現預金などの資産を保有し、これを永続的に維持する必要があります。そのため学校会計では、当該年度にこれらの取得に充当した金額を基本金に組み入れる仕組みとなっています。この基本金の対象は「学校法人会計基準」において、次の4つに分類し規定されています。

第1号基本金：設立当初に取得した固定資産並びに設立後新たな学校の設置、学部学科の増設、定員や実員の増加による規模の拡大及び教育の充実向上のために取得した固定資産の価額。

第2号基本金：第1号の資産を将来取得するために充てる金銭その他の資産の額。

第3号基本金：基金として継続的に保持し、且つ運用する金銭その他の資産の額。

第4号基本金：恒常的に保持すべき資金として文部科学大臣の定める額。

[減価償却額]

時間の経過により老朽化することで価値が減少する固定資産について資産としての価値を減少させるために計上する費用です。

[資産処分差額]

資産を使用不能等により除却・廃棄した場合、資産の帳簿価額を資産処分差額として計上します。

貸借対照表に計上される主な科目

[有形固定資産]

土地、建物、構築物、教育研究用機器備品、図書等の実態のある資産で会計年度末後1年を超えて使用される資産です（耐用年数が1年未満となった使用中の資産も含まれます）。

[有価証券]

会計年度末後1年を超えて保有するものはその他の固定資産、一時的な保有のものは流動資産に計上します。

[特定資産]

校舎その他施設の増設・改築等将来の特定の支出に備えるために資金を留保するために計上する科目です。

[現金預金]

現金・銀行預金・郵便貯金等で、この金額は資金収支計算書の翌年度繰越支払資金と一致します。

[借入金]

長期借入金：返済期限が年度末後1年を超えて到来する借入金で、「固定負債」に計上されます。

短期借入金：返済期限が年度末後1年以内に到来する借入金で、「流動負債」に計上されます。